

# 平成30年度 事例・介護研究発表会開催

## 『介護の実践を伝える！・リマインド！』

私たち介護福祉士は、事例・介護研究を通じてエビデンスに基づいた支援や介護福祉士としての資質・技術の向上、さらなる専門性を確立していくことが求められています。介護現場における研究とは、日々直面する様々な解決すべき課題や問題に着目し、利用者のニーズやサービスを見直すために、とても重要な手がかりとなります。この発表会により、介護の『楽しさ・深さ・広さ』を多くの方と共感し合える機会にして頂きたいと思います。

### 私たちの役割を想起するチャンスです！！

#### 1 主催

一般社団法人 山口県介護福祉士会

#### 2 日時

平成30年8月19日（日） 午前10時00分から午後3時30分まで

#### 3 会場

山口県セミナーパーク 一般研修棟204  
山口市秋穂二島1062

#### 4 助言者

熊本大学大学院 社会文化科学研究科 教授 矢原 隆行氏  
一般社団法人 山口県介護福祉士会 会長 河本 由美

#### 5 日程

9:30	10:00	11:45	12:45	13:45	15:30
受付	オリエンテーション	発表 3例	昼食	発表 2例	『私たちのリマインド』実践研究へのいざない

#### 6 定員

100名（先着順）

#### 7 申込方法・締切

申込書に必要事項を記入の上、本会事務局宛て、郵送又はFAXでお申込みください。

ホームページからもお申込みいただけます。

申込締切：平成30年8月10日（金）

#### 8 参加費・支払方法

正会員・準会員 2,000円 / 一般 8,000円 / 学生 1,000円

当日受付にてお支払いください。

※ 研修受講券・補助券が御利用いただけます。

## 9 生涯研修手帳について

- (1) 正会員は当日、生涯研修手帳を持参してください。
- (2) 手帳へ下記のように事前に記入の上、参加してください。

修了年月日	研修名	主催者	研修時間	修了印	単位
平成 30 年 8 月 19 日	事例・介護研究 発表会	山口支部	4 時間 30 分		3

## 10 その他

- (1) 正会員・準会員は会員証を持参してください。最近正会員の入会手続きをされてまだ会員証をお持ちでない方は、「日本介護福祉士会入会申込書」「預金口座振替依頼書」の 3 枚目(本人控)を持参してください。
- (2) 当日、正会員に入会される方は、会費引き落としのための預金口座番号と口座に使用する印鑑を必ず持参してください。当日、手続きが完了された方のみ、正会員として受講できます。準会員へ当日入会される方は、受付にて会費(5,000 円)をお支払いください。
- (3) 昼食は各自で準備していただくか、施設併設の食堂を利用してください。
- (4) 研修を受講するのにふさわしい服装で参加してください。

## 《事例・介護研究発表会 プログラム》

事例・研究テーマ	発表者
① 夜間、ゆっくり休んで頂くために 「ね～ちゃんよ～い。シッコシッコ。うんちうんち。」	特別養護老人ホーム 稗田喜楽園 澤村 富士子
② ～坐位で変わる生活～	特別養護老人ホーム 富任荘 高山 道広
③ 介護動作に対応する体操「一介助一体操」の検討 ～リハビリ専門職と介護福祉士の相違点～	山口県介護福祉士会 介護予防リハビリ体操 インストラクター 船津 幸美
④ 介護福祉領域における職能団体への入会を阻害する 要因と入会を促進する要因の比較検討について —山口県介護福祉士へのインタビュー調査から—	済生会山口地域ケアセンター 伊木 康人
⑤ A4プロジェクト	大塚 和美

※ 研究テーマ名、発表順は、当日若干変更となる場合がありますので御了承ください。

※ 優秀な事例・研究については、「介護学会」や「中国・四国ブロック大会」、「山口県介護保険大会」等各発表会へ、本会から推薦いたします。

### 13：45～『私たちのリマインド』———実践研究へのいざない

『研究ってなんか大変そう。』『何をテーマにして、どこから始めればいいのか?』・・・  
みんなが思う、事例・介護研究へのハードルの高さ、苦手意識。

しかし、現場における実践研究は、私たち介護福祉士の日々の業務を根拠に基づいて行っていることへのリマインド(想起させる)、社会への発信となります。

介護における事例の組み立て方や研究方法などについて、介護研究や事例発表の経験者が介護研究を通して感じたことや得たものなど・・・体験談を語ります。  
今回は特別に助言者の矢原先生から、『研究へのいざない(誘い)』として、介護現場における研究について、わかりやすくお話ししていただきます。